

## 令和6年度大阪府支部開催報告について

1週間前に平年より2日遅く梅雨が明け、関東、東海地方では最高気温が40℃に迫る暑さで、全国的にも命に関わる暑さが続く7月28日、多くの外国人観光客が訪れる大阪のグリコのネオンや戎橋のあるミナミと呼ばれる地域にある道頓堀ホテルにて大阪府支部総会並びに親睦会を開催いたしました。

総会では、冒頭に渋谷会長(昭和55年卒)より挨拶と近畿ブロックの事案等の報告が行われた後、令和5年度事業及び会計報告並びに令和5年度事業計画及び予算案の4議案について賛成多数により承認され、支部会則の一部を改正する議案についても出席者の2/3以上の賛成により承認されました。

また、麻布大学同窓会定時代議員会の報告も兼ねて晩夏に実施している総会並びに親睦会については、ここ数年続いている酷暑による健康面を考慮して、次年度以降は初冬に開催することを決定いたしました。

本年度はご来賓として令和6年4月1日より副学長に就任され、大学教育推進機構長、博物館長でもある村上賢教授にご臨席を賜り、「大学の現状とこれから」というテーマで麻布大学の歩み、施設案内、麻布出る杭プログラム等の取り組み等についてご講演いただき、改めて今後の獣医師の展望並びに大学の現状を知ることが出来ました。

総会に続き懇親会では村上教授にもご出席を賜り、1年ぶりの再会に歓喜する者や日頃から親しくされている開業の先生などが集い、職業、年齢に隔たりなく、村上教授を交えて先輩、同期や学生時代の思い出話に花が咲き、時が経つのを忘れるほど盛大な会となりました。

最後に大阪府支部総会並びに懇親会の開催に際し、ご出席賜りました村上教授をはじめ派遣にご尽力賜りました同窓会事務局の皆様にご感謝を申し上げますとともに、麻布大学並びに麻布大学同窓会の益々のご繁栄をお祈りいたしまして、大阪府支部総会の報告とさせていただきます。

大阪府支部事務局 奥村 聡

